

業 況 リ ポ ー ト

製 造 業

- ◇パン…農家にパン用の小麦を作付していただき、子供たちの食育のお役にたてればと考えている。一般家庭では、パン食が多くなってきているように感じるが、学校給食向けのパン製造工場は厳しい状況が続いている。
- ◇酒…5月の課税移出数量は、前年同月比99.3%とわずかながら減少。特定名称酒（吟醸・純米）については、前年同月比103.8%と堅調な伸びを示している。焼酎については、81.7%と大幅な減少。清酒輸出に関しては、数量の伸びは依然として順調だが、金額ベースで見ると微増であり、輸出相手先の開拓（見直し）などを含めてジェット口茨城と連携し、商談会や輸出セミナーに注力している。国際空港免税店エリアでの試飲販売は4月以降も継続参加、今年前半は5社が出展販売を行う。
当組合の蔵元情報誌「茨城の地酒と蔵元」を県内の公的施設・イベント会場などで広報活動のツールとして活用しているが、非売品のため一般購入希望者に頒布できず、無償提供にて対応。4月の全国新酒鑑評会における当県の入賞蔵は14社（うち金賞が10社）と2年連続で好成績をおさめた。今年度もレベルアップのため、技術研究会を実施している。
- ◇納豆…円安によるダメージを受けたまま低空飛行状態にある。
- ◇菓子…前年同月比で売上は横ばい、収益は減少傾向。先月に引き続き、今月も原材料などの値上げがあり、収益を圧迫する要因になっている。
- ◇繊維製品(袋物)…6月に入り、各社ともかなりの受注が出た様子。しかし、生産は月末から翌月になる予定。
- ◇木材…製品の引き合いは相変わらず低調で推移している。プレカット工場の稼働率はやや上向きだが、全体には行き渡らず、工場間で格差がみられる。
消費税が10%に引き上げられる2017年4月までに、もう一度駆け込み需要がおこるとみられているが、現状の市況の悪さでは、そういった動きはみられないのではないかとこの見方が出ている。国産材原木価格（スギ、ヒノキ）が、年初から下落している。
- ◇プレカット…目標の90%程度加工できた。7月も予定が入ってきているので、目標を達成したい。
- ◇段ボール…6月は前年と同程度だった。先行きは不透明。
- ◇焼物…商品や人の流れなどをみると、少しずつではあるが戻ってきていると感じられる。ただし、土・日・祝日に限られており、平日までには至っていない。

ていない。

- ◇鍍金…6月は受注・収益状況とも前年並み。しかし、得意先の景況は、少し上向いているように感じられるので、7月は多少期待している。燃料・電気料金は高止まり。めっき加工単価、原材料価格については、前年同程度で大きな変化はない。
- ◇電化機器…当月の生産高は、対前年同月比△32百万円（△4.4%）の696百万円。4月、5月における全体での前年比マイナスの数値は縮まる傾向がみられる中、家電関連は高止まりした状況。前月比では、122百万円（21.3%）増加したが、親工場における内作化が進む環境にあり、今後も厳しい状況で推移すると考えられる。
- ◇自動車部品…売上高はやや上向きつつあるが、依然として企業間に格差が目立つ。
- ◇工業団地(農機部品)…対象7組合員の売上状況は、増加が6社、減少が1社。主得意先の上期増産計画に対応するため生産が増加。対前年同月比売上高は28%増加し、ここ数年では最高の売上高となった。従業員数は、臨時社員が約3%増加し、ここ数年では最多の従業員数となった。

非 製 造 業

- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比6.92%増。
量販店の売上高は増加しているが、一般買受人の売上高は減少傾向。
- ◇県南地区卸売…準組合員1社が、業績不振により9月30日付で撤退することとなった。
- ◇食品卸売…野菜に関しては、数量は前年並みで2割強の単価高となった。じゃがいも、玉ねぎ、さつまいもが数量減により単価高となったことが全体の数字に影響している。7月もこの状況が継続すると思われる。
果実に関しては、数量増で単価高となった。りんご、輸入果実が数量減により単価高となった一方で、すいか、アンデスメロンは数量増となった。
- ◇セメント卸…袋セメントの出荷数量は前年同月比約6%の減少。省力工法への変化や私製袋の増加など、構造的要因から減少傾向が続いている。
- ◇家電…夏商戦の時期を迎えるが、市場の低迷もあり事業展開が難しい状況。長年の経験や資格・知識を基盤に提案力、情報発信力を強化し、大きく展開していきたい。また、困りごとへの相談対応などの面倒見、安心・安全へのフォローも引き続き展開していきたい。
- ◇県北地区共同店舗…6月10日に、「7月1日からプレミアム付商品券販売開始」のお知らせがあった影響か、全業種とも大幅な売上減。
- ◇県央地区共同店舗…毎年6月に実施しているお得

意様向けのセールを7月に繰り下げたので、その分売上が落ちた。7月はプレミアム商品券が販売されるので、それに期待している。

◇**県南地区共同店舗**…物販業種は横ばいの売上状況だったが、食料品部門が苦戦した。このほか、アミューズメントなどのサービス業種も対前年同月比80%と大苦戦。全体的に客数の落ち込みが響いた。

◇**農機具**…米価低迷の影響で、販売数量が減少した。排気ガス規制により価格上昇（30馬力クラスで約1割上昇）が見込まれる。

◇**中古自動車**…6月は昨年の反動から成約率が減少した。それに伴い売上・収益とも悪化した。小売も需要が少なく販売不振の傾向がみられる。

◇**石油**…原油価格は60ドル台で安定して推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で22円下落した。経営環境は、依然として組合員の仕入価格を下回るような安値販売競争が続いており、非常に厳しい状況。

◇**商店街（下妻）**…長梅雨の影響で、夏物衣料や飲料などの販売が低迷している。客数も減少傾向。

◇**ホテル旅館**…県北エリア（臨海部・山間部）では、客数と売上は横ばいもしくは減少傾向。

県央エリアにおいては、団体客の受け入れが多かったため、単価を上げて売上は増加している。

水戸市内に関しては、稼働率が上がっているが、取引原価が上昇しており、消費税増税分を価格に転嫁できていないのが現状。

◇**自動車整備**…組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車106.8%、軽自動車は110.1%と増加。

◇**総合建設**…小規模工事の発注が始まった。同時に多くの発注があったため、ダンピング受注は減少したが、1,000万円以上の土木工事はほとんどがダンピング受注である。これは一般競争入札によるところが大きく、手持ち工事のない会社が利益

を無視した受注を行うことが原因。

建設工事においては、予定価格が実勢価格に追いついていないため、ダンピング受注すらできず、予定価格ぎりぎりでの落札競争になっている。この積算基準でいくと、11月以降の入札は不調が発生すると考えられる。

◇**電気工事**…6月は工事件数が少なく、その影響で社員が行う現場の工事作業が少なかった。

◇**管工事**…入札工事の資材購入が重なったため、売上が増加した。一方で、民間会社の一般住宅の仕事は明らかに減少している。

◇**県北地区運輸**…顧客動向は全体的に昨年を下回る出荷物量。また、原油価格は横ばいだが、燃料価格が高止まりになっている影響で、収益を圧迫している。

◇**県央地区運輸**…フリーの仕事は少なく、定期便のみ稼働している状況。中旬ごろからお中元配達が始まったが、平年通りの稼働。

H27.6月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲16.7		▲33.3	
その他業		▲10.0		▲35.0	
卸売業		25.0		▲25.0	
小売業 (商店街を含む)		▲63.6		▲54.5	
サービス業		50.0		50.0	
建設業		▲40.0		▲60.0	
運輸業		▲100.0		▲100.0	
全体		▲24.0		▲40.0	

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（D.1値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.1値

アクモス 株式会社

<http://www.acmos.co.jp>

— 人と技術と感動を —

プロフェッショナルサービスプロバイダーのアクモスグループです

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7

TEL: 029-270-5555 FAX: 029-270-5531

 認定コード 6888	本社 東京都千代田区神田小川町三丁目2-6-8 03-5217-3121	つくば事業所 茨城県土浦市卸町1-1-1 関鉄つくばビル2F 029-834-3391
-------------------	---	--